

《《琵琶湖スポーツランドフリーフィンギング資料》》

2024.3.30 改正

ダミーグリッド・ピットロード

- ① 登録されたピットクルーは、ピットパスを着用の上、ピット作業及びピットサインを行うこと。
ピットクルー及びエントラント以外は、ピットロードへの立ち入りが出来ない。
- ② 本レースのダミーグリッド（待機場所）は1コーナー側。パドック側より進入すること。（ピットロード側からは不可）
コース内への工具の持ち込みは、一切認めない。
予選及び決勝ヒートは、タワー横通路からコース上への入場を認める。
- ③ ダミーグリッドには十分な時間の余裕を持って、集合すること。
- ④ コントロールタワーより最終コーナー側は、レース中（公式練習、TT 含む）立入禁止である。
ピット作業及びピットサインは、コントロールタワーより1コーナー側で行うこと。

公式練習

すべてのドライバーは、定められている公式練習に参加しなければならない。
スタートラインを通過する前に、コース上で停止した場合も参加とみなす。

タイムトライアル

公式練習から連続してタイムトライアルは開始される。

ドライバーはタイムトライアルとして設定された時間内（5分間）であれば任意に出走し、時間内であれば、途中で停止した場合も再トライアルすることが出来る。但しピットに戻った場合は、再トライすることは出来ない。

カデットクラスにおいては、カートから降りなければならない状況の時は、オフィシャルにより排除される。その際は、再トライはできない。

スタート進行

- ① 十分な時間の余裕をみて、ダミーグリッドに集合すること。
- ② スタートはローリングスタートで行う。キッズビギナーはスタンディングスタートとする。
- ③ キッズクラスは、1周のフォーメーションラップ後、スタンディングスタートとする。
尚、スタート時の補助ピットクルーは1名までとする。（キッズクラス）
E/Gトラブル等でピットスタートも認めるが、1周減算とする。
- ④ スタートが合図される前に、約1周のフォーメーションラップを行う。※スタート直前に競技長より指示します。
ドライバーは2列の隊列でスタートラインに向かい、25m手前に引かれたイエローラインを超えるまでは加速してはならない。
スタートはシグナル（灯火信号）で行う。
- ⑤ フロントロウに並んだドライバーは後続のドライバーが追い付けないようなスピードでフォーメーションラップしないように注意する。
フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合、当該ヒートの結果に10秒加算となる。
特に6コーナーを通過してからは、隊列を整える配慮をし、最終コーナー立ち上がりから、イエローラインまでの加速はしてはならない。
フォーメーションが整いイエローライン前に加速していないと判断した場合、赤信号を消灯して、スタートの合図を行う。フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、フォーメーションラップがさらに1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける（消灯しない）
- ⑥ フォーメーションラップ中の追い越し、隊列復帰禁止区間は8コーナーに書かれたイエローラインからスタートラインまでとする。

フォーメーションラップ中の指定区間での追い越し及び割り込み違反者は当該ヒート失格となる。

- ⑦ フォーメーションラップ中、先頭車両が3コーナー通過時までにエンジンのかからない車両はピットに戻します。
フォーメーションラップ中に隊列が8コーナーまで来た場合は、ピットマーシャルがピットアウトを制止する。その時スタート合図がなされた場合は、ピットスタートはできない。
- ⑧ フォーメーションラップ中に大きく遅れたと判断されドライバーには、白地に赤バツテンの表示が出され、出されたドライバー及びフォーメーションラップ中にピットインした（ピットスタートした）ドライバー、そして周回遅れのドライバーは最後尾につかなければならない。フォーメーションラップ中に隊列から遅れたものが、隊列の前に出て待つような行為をしてはいけない。
リタイヤ及びフォーメーションラップに遅れてきたドライバーの空席となったポジションは、スタートの合図が出されるまで、空席グリッドを維持されなければなりません。
- ⑨ スタートの合図が出されるまでは、隊列を乱してはいけない。著しく乱れた状態でスタートを切った場合は、ペナルティの対象となる。
- ⑩ フォーメーションラップ中のタイヤヒーティングは禁止される。(蛇行の禁止)

レース中の留意事項

- ① 走行中（公式練習、タイムトライアル、予選ヒート、決勝ヒート）の吸排気消音器の脱落は、次通り行う。
1) 脱落して即座に安全な場所に移動して停止した場合および徐行にてピット（再車検場）に移動した場合は、当該ヒート失格とする（公式練習除く）
2) 脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。
- ② 復帰するための最小限の方向転換は、認める。
- ③ キッズビギナー及びカデットクラスの公式練習・TT・予選・決勝ヒートにおいて、スピン等で停止やコースアウトした場合、他を妨害することなく、続車両通過後、またはコース員の指示後にレース復帰すること。なお、レースに復帰する際、カートから降車して、自力でカートを押してエンジンを始動することは認められない。
- ④ オレンジボール旗は、レースの最終周では、振らない。しかし最終車検時において必備とされているものがなければ、失格とする。
国内カート競技規則に定める必備の部品の脱落の場合、当該ヒート失格とする。
- ⑤ 捨てバイザー（シールド）を捨てることを禁止する。
- ⑥ タイヤの加工は一切禁止する
- ⑦ ドライバーの合図（ドライバーサイン）は必ず行うこと。合図（手の上げ方）は必ず頭上高く上げることを義務付ける。
オフィシャルが合図不履行（頭上高く上げていない場合も含む）と判断した場合には、ペナルティの対象とする。
- ⑧ 黒旗の提示は、コントロールライン上とする
- ⑨ チェッカーフラッグを受けたカートに対しては、黄旗を提示する。ドライバーは、黄旗に従い指定場所に移動すること。ドライバーのミスによるチェッカーフラッグの見落とし（W チェッカー）は警告とするが、コース上にオフィシャルが立ち入っている場合もあるので、見落とすことのないように十分に注意すること。
- ⑩ イエローラインの次の白線をスタートラインとする。イエローラインより2本目の白線をフィニッシュラインとする。
- ⑪ ローリングが始まってから、レースがスタートするまでの間、メカニックはピットロード及び、コース側（プラットフォーム）に出てはならない。
- ⑫ チェッカー旗が振られたら、メカニックはコース側（プラットフォーム）及びピットから離れたパドックに戻らなければならない。また、チェッカー旗は振られた後にピットインしたカートの整備をしてはならない。
レース中、リタイヤのドライバーも、必ず車検を受けなければならない。レース中、ドライバーがパドックに入らない。（工具を取りに行ったりなど）
- ⑬ ピットインする場合はピットロードを徐行しなければならず、かつ必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。これに違反した場合は当該ヒート失格となる。ただし、公式練習時は、タイムトライアルの結果に、4秒加算とする。

- ⑭出走前には、選手自身全ての封印のチェックを行うこと。
- ⑮レース中ピットクルーのピットロードへの立ち入りは、クレデンシャルを必要とし、ピット作業時またはピットサイン提示時以外はピットロードのピット側で待機とする。タイヤバリア沿いでの待機は禁止とする。
- ⑯ピットロードへの立ち入りは、当該クラスのピットクルー及びエントラントのみとする。
- ⑰故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行う行為（故意と思われるプッシング等）や著しくマナーの悪い行為に対しては、積極的に白・黒旗を振る。
- ⑱ショートカット及びコースからピットロードへ侵入した場合（クラッシュパッドやタイヤバリアを越えて）は、レースへの復帰は認めない。

ドライバーに対する留意事項

- ①ストレート走行中、空気抵抗を減らす目的で顔を伏せる姿勢のドライバーがいるが、視野（目線）まで伏せることは厳禁であり、如何なる状況下であっても前方の視野を保っておくこと。
- ②フォーメーションラップ中、隊列のペースを乱さないように円滑なローリングを行うこと。
- ③ピットエリア内でのピットロード上の速度を十分減速すること。
- ④1 セットの登録タイヤは「技術委員長の承認のもとに、各 1 本のみ交換」が認められているが、交換を認める場合の基準はバースト、パンクおよび嵌合部からの空気漏れ等がある場合のみとし、トレッド肉厚は交換する前のタイヤと同等以下であることが条件となる。
- ⑤ピットエリアおよびパドック内での火気および高熱を発生するもの（溶接機、サンダー等）は指定された作業エリアで使用すること。
- ⑥登録したエンジンが、故障破損等により、技術委員長が走行不可能と判断した場合に限り、1 回だけエンジンの交換が認められる。故障破損したエンジンも再車検の対象とする。交換後のヒートのグリッドポジションは、最後尾（複数名の場合は、最も遅く申告したものを最後尾とする）とする。

服装に関する注意

- (1)ヘルメットの顎紐
- (2)レーシングスーツ前側上部のファスナー押え様ストラップ

フロントフェアリングに関する事項

- 1) 2015-2021/2018-2021/2022-2023 CIK-FIA 公認フロントフェアリング取付キットの使用が義務付けられる。
(キッズビギナー・MZ 以外)
- 2) フロントフェアリングが正しい装着状態でなかったとしても、オレンジボール旗は提示されない。ただし、安全上問題がある場合は、その限りではない。
- 3) 公式練習及びタイムトライアルを除き、チェッカー後フィニッシュラインを通過したカートのフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合、当該ヒートの結果に 5 秒加算のペナルティが課される。

パドック内はすべて禁煙とする。喫煙は喫煙場所（トイレ前）にて行う。電子タバコも喫煙とみなす。

車両の回収

放送およびオフィシャルの合図があるまでは、コース内へ立ち入らないこと。

その他

電光掲示板の表示及び、レースアナウンスはサービスの一環として表示しているものであり、暫定又は、正式発表との食い違いがあっても、全て事務局より発表される結果が優先される。

また、周回数は電光掲示板に表示される。表示は走行周回数にて表示される。残り周回数ではありません。

レース進行の基準となる時間は、公式時計に従う。公式時計はコントロールタワー 1 F に設置する。

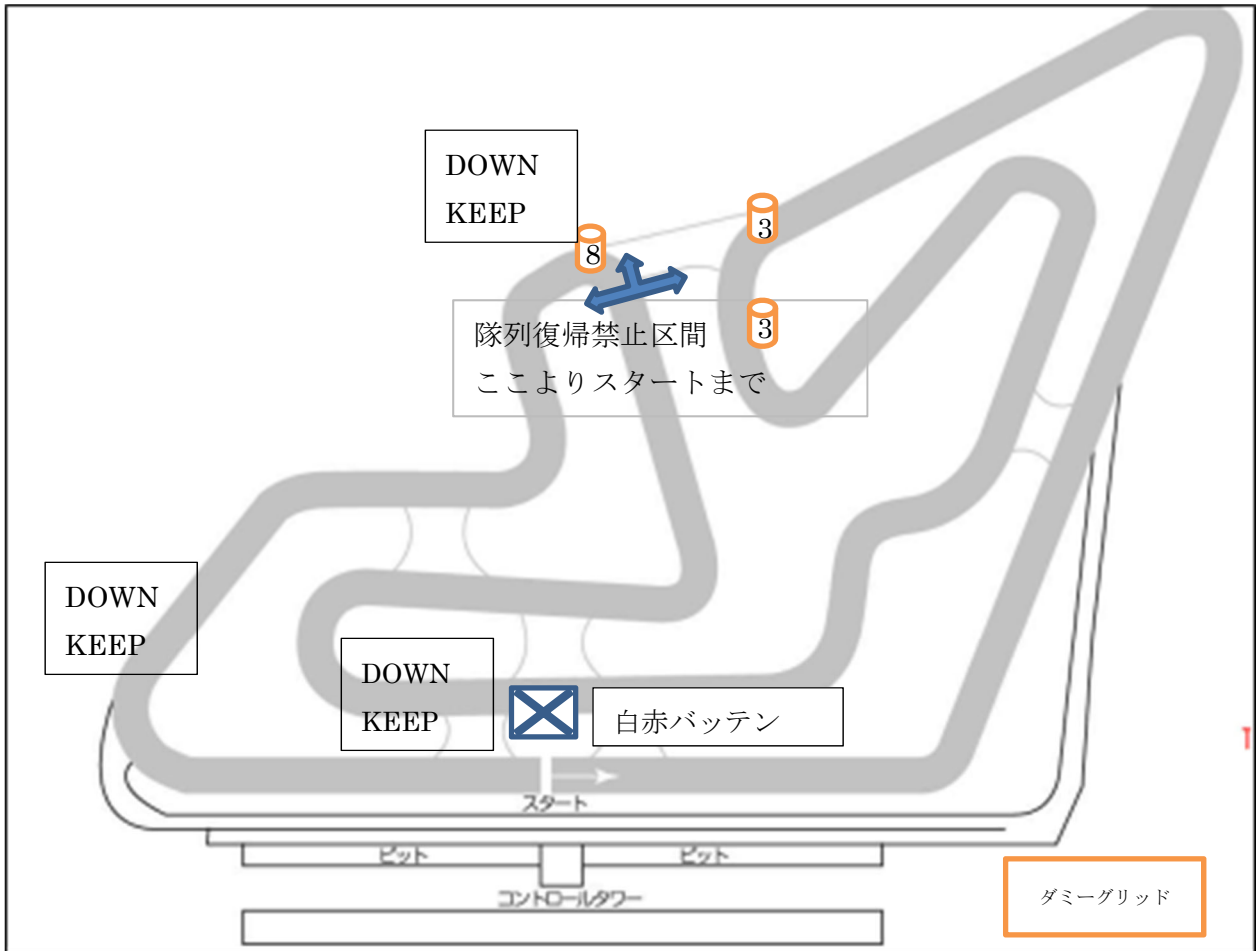
スタート前の集合は場内放送にてご案内致しますが、タイムスケジュールでの時刻で進行を行います。

スタート時刻は各自で認識の上、ダミーグリッドまでお集まりください。

スムーズなレース進行を心がけるためにも、オンタイムでのスケジュールの協力をお願いします。

天候や日没時刻によって安全性を考慮し周回数の減少や時間の短縮を行う場合もあります。

ドライバーのフェアプレーを促すために、レース開催中、怪我をしないで日頃の実力を十分に発揮してもらおう。



ペナルティについて (SL 規則抜粋)

ペナルティには次の 5 種があります。

1. 警告 (厳重注意) 2. 罰金 3. タイムペナルティ
4. ラップペナルティ 5. 失格 (当該タイムトライアル、ヒートまたはレースの失格)

※レース失格の場合、そのセッション以後のレースには参加できなくなる。Ex) 予選でレース失格になると決勝①②ともに出場できません。
また、そのレースのポイントにもリザルトにも反映されることはありません。

ヒート失格の場合は、予選ヒート失格なら、決勝レースは最後尾より出走可能です。決勝ヒート失格の場合は、失格でリザルトには残りますが、全クラスシリーズポイントは与えられません。

- (1) 警告はその必要ありと認められた違反に対して発せられます。
- (2) タイムペナルティ及びラップペナルティは、失格には至らない違反に適用されます。
- (3) 失格は次の違反に課せられます。
 - a. 規則に反して不当に得たアドバンテージ
 - b. 故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行う危険行為。
 - c. 与えられたオフィシャル指示を故意に無視したとき。 d. 与えられたフラッグサインの無視。

先頭車両が3コーナー通過時までにはエンジンのかからない車両はピットに戻します。
ピットスタートの場合は、最後尾につかなければ、ならない。